



長野県立大学
後援会

会報

2024.3

Vol.10



CONTENTS

1 ご挨拶 長野県立大学 後援会会長 齋藤 儀信
“ホームカミング”でお会いしましょう!

公立大学法人長野県立大学 理事長 安藤 国威
再び攻める大学を 長野県立大学 学 長 金田一真澄

2～3 特集 ～卒業・修了おめでとう！～

令和5年度 長野県立大学 卒業式

●卒業生から一言

4～5 **令和5年度 長野県立大学大学院 修了式**

●修了生から一言

●学生表彰

6～7 Campus Topics

学園祭

サークル

8～9 進路情報

裏表紙 Information

●図書館より

●学生相談（カウンセラー）より

●後援会事務局より

ご挨拶

長野県立大学 後援会会長
齋藤 儀信

会員の皆様におかれましては、日頃より長野県立大学後援会にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

まず、本年の元日に発生した能登半島地震により被災された方々に、深い哀悼の意を捧げたいと思います。この大災害により被災された皆様の心の傷が、一日も早く癒え、復興に向けての道が開かれることを心からお祈り申し上げます。

さて、新型コロナが5類となり、早や一年が経ちました。大学コミュニティ全体が団結し、学びや活動が再び活気づいて大学生活がより充実したものと思います。これから、学生たちがそれぞれに思い描いたキャンパスライフが実現できることを願うばかりです。

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。長い学生生活の集大成として、卒業は大きな節目です。皆様の努力と献身に感謝し、新たなステージでのご活躍を期待しています。新たな人生の道に進むにあたり、困難な時でも諦めず、前向きに進んでいってください。そして、長野県立大学の名を背負って、社会に貢献していくことを願っています。最後になりましたが、会員の皆様のますますのご発展とご健勝を祈念して、挨拶とさせていただきます。



“ホームカミング”でお会いしましょう！

公立大学法人長野県立大学 理事長
安藤 国威

後援会の皆様には、日頃多大なご支援をいただき深く感謝申し上げます。

2020年の2月のことでした。海外出張からの帰途香港空港へ立ち寄った私は、建物のほとんどが閉鎖され、税関を通過したのは私たちだけと言う状況の中で、初めて新型コロナの恐ろしさを目の当たりにしたのです。

それから2ヶ月後に入学された3期生の皆さんから聞いた悲痛な声を忘れることができません。「リモート授業ばかりで友達ができないのが悲しい。」

しかし、今卒業される皆さんから聞かれるのは本学の本当の良さは先生方とこんなにも近い関係にあること、この大学を卒業することが本当に寂しいという声です。

卒業される皆さんとの関係をこれからも大切にしたい、そして年に一度は皆さんの元気な顔を見せて欲しいという思いから、昨年は学園祭と同じ時期にホームカミングをスタートさせました。

私はこのホームカミングを本学のユニークなイベントとして、学園祭以上に盛り上げていきたいと思っています。明日から社会へ巣立つ皆さんの心の故郷として育てていきたいのです。

後援会の皆様には、社会へ出た学生たちを温かく見守っていただくよう、改めてお願い申し上げます。



再び攻める大学を

長野県立大学 学長
金田一 真澄

本学へのいつもながらの温かなご支援・ご協力、深く感謝申し上げます。

ここにきて、世の中が一斉に大きく動き出した感があります。今まで比較的静かだったキャンパスにも、学園祭をはじめ、様々なイベントが次々に花開き、海外の大学からも来客が増え、学生たちの顔も生き生きしてきました。

能登半島地震の被災者の方やその関係者の方々には、心よりお見舞い申し上げます。2月10日にはそのためのチャリティ・コンサートが本学キャンパスで開かれました。

就職状況も売り手市場のままで、就職率100%は継続されています。本学の教育研究を7年以内に1度チェックする「認証評価」が、今年初めて実施されますが、本学の教育には自信を持っているので、余裕でクリアできるはずです。

学生たちは、長野県の様々な場所で、思い思いに地域活動を行い、地域に若い活力と元気を与え、メディアにも度々扱われ、地元からも感謝されています。こうしたボランティア活動の伝統を今後も継承してまいります。

会長の齋藤儀信様をはじめ、後援会の皆様には、一層のご支援を、よろしくお願い申し上げます。



特集 ～卒業・修了おめでとう！～

＊ ＊令和5年度 長野県立大学 卒業式＊ ＊

令和6年3月15日（金）に、令和5年度長野県立大学卒業式を挙行政いたしました。

グローバルマネジメント学部グローバルマネジメント学科161名、健康発達学部食健康学科28名、健康発達学部こども学科40名の卒業生に、金田一真澄学長より卒業証書が授与されました。



●卒業生から一言

コロナ禍の学生生活を越えて

グローバルマネジメント学部グローバルマネジメント学科 佐賀 涼輔

コロナウイルスの蔓延は、対面授業や1年次全寮制の見合わせ、海外研修の国内実施など私たちの学内活動に大きな制限をもたらしました。学生生活への期待と裏腹に、抗うことのできない現実には無力感や不安を覚えたこともありました。

先の見えないコロナ禍の学生生活を支えてくれたのは、指導教授である築山先生や様々な志を持つ同級生、地域の人など多様な人と出会えたことでした。築山先生のゼミや講義では、コロナ禍や日本社会における地域社会や行政の現状や構造を深く学びました。同時に、ゼミでは善光寺門前・戸隠・松本など様々な地域を訪問し、同じ時間を共有しました。コロナ禍で「人と出会う」ことが困難だった分、一緒に物事に取り組むことがとても新鮮でかけがえのない時間となっているのだと気づきました。

私は春から行政職員として厳しい時代の地方行政の担い手となります。この選択ができたのは、コロナ禍における学びや出会い、気づきが自分の目指すべき方向を導いたからだと考えています。学生生活での様々な出会いに感謝をし、4年間の学びを自分の財産として社会人の一歩を踏み出していきます。

卒業にあたり

健康発達学部食健康学科 早勢 若菜

大学生活を振り返り、1番はじめに思い浮かんだのは、研究室での活動でした。私の研究室は、災害時の食事に関する活動を学外で複数回実施しました。それぞれの活動内容が異なるため、企画から実施するまでの準備が大変であり、4年生になってからは、ほとんど毎日大学で作業を行いました。卒業研究や学会を通して、数えきれないほどの学びを得ました。

大変な卒業研究を成し遂げられたのは、一緒に頑張ってくれた研究室の仲間がいたからです。頑張ったら飲み会をし、隙間時間は勉強を全力で行い、くだらない話をしながら作業をする毎日が大好きでした。オール勉強会をはじめ、その他諸々、大学生のうちにやりたいことを一緒に謳歌してくれたのは一生の思い出です。コロナ禍で入学し、入学前に思い描いた大学生活ではありませんでしたが、違った形でとても濃く、充実した日々でした。支えてくださった多くの先生方、みなさん、本当にありがとうございました。

大学生活を振り返って

健康発達学部こども学科 日向寺 彩加

私は長野県立大学への進学をきっかけに地元を離れ、長野での生活が始まりました。高校卒業まで地元で暮らしていた私にとって、一人で新しい生活が始まることは楽しみよりも不安が大きかったように感じます。しかし、今周りを見てみると様々な人との繋がりがあり、居場所があります。一人一人との出会いのきっかけが大学4年間の思い出です。たくさんの出会いがあり関係性を築いて、サークル活動やフィンランドでの海外研修を経験し、大学卒業まで過ごせたことは私にとっての大きな財産となりました。今しかないこの時間を長野県立大学で過ごせてよかったと心から感じています。いつも側にいてくれた人たちはもちろん、どこかのタイミングで時間を共有してくれた人たち、家族、関わってくれた全ての方々に感謝したいです。春からは新しい生活が始まり辛いこともあると思いますが、そんな時は同じようにそれぞれの場所で頑張っているみんなの姿を思い浮かべて、保育者として充実した日々を送りたいです。

* * 令和5年度 長野県立大学大学院 修了式 * *

令和6年3月15日（金）に長野県立大学大学院修了式が挙行され、ソーシャル・イノベーション研究科14名、健康栄養科学研究科1名の学生に、金田一真澄学長より修了証書が授与されました。

大学院開学から初めての修了生を送り出しました。今後、それぞれのフィールドでご活躍されることを祈念いたします。

●修了生から一言

ソーシャル・イノベーション研究科 塩入 美雪

長野県短期大学2012年度の卒業生の私は、2022年春に長野県立大学大学院ソーシャル・イノベーション研究科の一期生として、10年ぶりに母校に舞い戻ってきた。

私は、大学院を受験した頃、生後10ヶ月の息子の育児に奮闘していた。まだ夜間授乳で自身の睡眠もまともに取れていなかった状態であったが、それでも新設の大学院への憧れが先行し「夜間のオンライン授業なら大丈夫！」と思い切って入学した。が、やはり子育てと学業の両立は想像以上に難しかった。しかし、そんな私が2年で修了できたのは、紛れもなく仲間（同級生）の支えがあったからだ。同級生と言っても社会人大学院のため年齢層の幅は20-50代とかなり広い。それでも同じ目的を持って集まってきた仲間達に年齢差など関係なく、平日授業が終わった後も夜遅くまでzoomを繋げ一緒にレポートを書き、土曜は授業後必ず飲みに行った。休日も子供を連れて一緒に遊びに出かけ、ある時は一緒に仕事をする事もあった。そんな仲間に出会い、2年間共に学べたことは、私の人生において何にも変え難い宝物になった。修了したとしても、きっと私たちの関係が終了することはない。そう信じられる仲間に出会わせてくれた大学に心から感謝している。

健康栄養科学研究科 市川 舞

大学院が開学して初の修了生として、この日を迎えられたことを誇りに思います。2年間の学びと研究の日々は、私にとって貴重な経験でした。院生としての研究活動は、自らの興味に基づくテーマと向き合う機会を与えてくれました。健康・栄養・食の分野における多角的な学びから得た知識やスキルを用いて、新たな発見や考察を追求する過程は刺激的で、研究の成果が地域への貢献や問題解決への取り組みにつながっていくことを実感できたことは、大きな学びだったと思います。また、私は長野県立大学の前身である長野県短期大学の卒業生でもあり、当時の面影が残る学内で、再び、社会人院生として学べたことをうれしく思います。

最後となりますが、ご指導いただきました先生方やともに学んだ仲間がこの場を借りて御礼申し上げます。みなさんのサポートがなければ、私の充実した学生生活はあり得ませんでした。大学院での貴重な経験を活かし、長野県の健康長寿の実現に向けて地域に貢献できるよう、とどまることなく歩み続けていきたいと思っています。

● 学生表彰

学長賞

在学期間を通じ、学業成績が最も優秀であった者

グローバルマネジメント学部
グローバルマネジメント学科
20G122 林 里佳子
20G174 割田 千尋

健康発達学部食健康学科
20F024 平田 朱音

健康発達学部こども学科
20C001 秋山 千奈

大学院 ソーシャル・イノベーション研究科
22S005 小林 憲一

理事長賞

4年間を通じ、特に優れた活動により本学の名誉を高めた者

グローバルマネジメント学部
グローバルマネジメント学科
20G048 行徳ゆりな

健康発達学部食健康学科

稲山研究室第3期生

〔 20F008 榊原 りん 20F029 若槻 美雪
20F021 早勢 若菜

健康発達学部こども学科

子育ての環 Link

〔 20C004 井上 琴葉 20C029 中山 愛梨
20C005 上野日向子 20C033 眞島奈留美
20C017 小林 鈴果 20C034 宮坂 彩奈
20C022 設楽 魅夢



＊ ＊学 園 祭 ＊ ＊

学園祭を終えて

学園祭実行委員長 竹澤 くるみ

「FUN2023」実行委員長を務めました、竹澤くるみと申します。

学園祭が終わって約3か月が過ぎましたが、振り返るといろいろなことが思い出されます。本番1週間前にステージ業者が変更になったことや、2日目のパンフレットが足りなくなってしまったこと、思い出の大半はハプニングが占めています（笑）。ただ、歴史が浅い学園祭だったからこそ、新しい取り組みをどんどん開拓していく楽しみは常に味わえました。組織構造を改めたり、初めてプロのバンドさんをお呼びしたり、組織の内側にも外側にも新たな挑戦を施せたと思っています。ただやはり、新しいことを形にする過程に伴って、何名もの実行委員の苦勞する姿を見かけました。ゼロから1を作り上げることの難しさを、多くの学生が経験していたように思います。しかし、最終的にはやり遂げる姿を見て、学年関係なく尊敬の気持ちが湧きました。貴重で素敵な経験ができたことに、心から感謝しています。

FUN な学園祭

学園祭ステージ部署長 木内 玲那

昨年10月21、22日に長野県立大学学園祭が開催されました。

コロナ渦であったことや創立当初は学生数が少なかったこともあり、“全学年揃って一般公開ありの学園祭”は今回が初でした。

当日は興味がそそられるような構内企画、甘いものから軽食、辛いものまで盛りだくさんな飲食ブース、ダンスやバンド、面白企画などのステージ、目を引くような装飾などとても魅力的なものばかりでした。たくさんの人の笑顔を見ることができた気がします。

私は本部メンバーとしてステージ部署長を務めさせていただきました。私にとって本部のメンバーと学園祭に向けて取り組んだ毎日は宝物のような日々でした。初めて本部で集まったのは雪が残る2月、その時に話したことは、“参加する学生、来てくださる外部のお客さんが楽しむことはもちろん、自分たちがFUNな気持ちになる学園祭にしよう”ということでした。学園祭当日はそれが大いに達成できたように感じます。

皆さんの中で学園祭がとても良いものとして残っていることを願っています。



サークル

こどもランドの活動について

こどもランドサークル長 荒井 宙

こんにちは！こどもランドサークル長の荒井宙です。今回は、こどもランドとはどのようなサークルなのか、また今年度行った活動について簡単に紹介していきます。まず、このサークルは湯谷小学校の子どもたちと長野県立大学の学生が様々な企画を通して交流をするサークルです。今年度は5月に「名札作り」、6月に「キャンプ前企画」、7月に「キャンプ」、12月に「クリスマス会」を行い、3月には「6年生お別れ会」を予定※しています。7月に行われた1泊2日のキャンプはコロナが5類となり4年ぶりに開催することができました。また「わくわくレター」というものを発行していて、これはコロナ禍で活動が制限されている中、子どもたちとの交流の機会としてお手紙方式で学生から子どもたちにお届けしたいという思いから始まり、現在も続いているものです。こどもランドのInstagramでは詳しい内容や写真が載っているので是非見てみてください！（※2月寄稿文のため）



D & Dの活動

D & Dサークル長 藤川 実夕

こんにちは！長野県立大学ダンスサークルD & Dでサークル長を務めております、2年生の藤川です。

2022年5月に17人で再始動したD & Dは、現在60人にまでメンバーが増えました。さらに今年度は学内イベントだけでなく地域のイベントを通して、学外の方々とも様々な交流を深めることができました。ステージを企画し、協力してくださっている皆様、いつもありがとうございます。



D & Dの活動で最も大きなイベントは10月に行われる学園祭です。夏休みから少しずつ練習を重ね、ダンスだけでなく照明や音響、メンバー全員が一丸となってステージを作っています。私たちは『パフォーマーである私たち自身がダンスを楽しむことで、好きなことを楽しむ大切さを観客の皆様と感じてもらふこと』を大事にしています。この思いを忘れず、皆様にダンスで楽しませることが出来るように、今後も活動を広げていきたいと思っています。

陸上サークルの活動

陸上サークル長 西田 怜矢

私たち陸上サークルは長野運動公園陸上競技場を中心に活動を行っています。コロナでの規制が徐々に緩和されてきましたが、2年生・3年生の合同海外研修などにより全員が集って練習することが難しく個人での練習が続く一年でした。中には大会に出場し入賞するなど積極的な活動を行っている人もいました。来シーズンでは個人種目だけでなく、リレーなどのチーム競技も上位入賞を目指して大会出場や練習活動をチーム一丸となれるよう努力していくつもりです。また、創設からしっかりとサークル活動できた回数は少なく、運動前の体操や練習内容、ドリルなど練習の流れが決まっていません。今年はそういったサークルの文化となる、練習の流れや大会での動きなどの”基礎”をみんなで作り上げる年にもしていきたいと思っています。



大会での競技中の藤岡さん

進路情報

●3期生による就職アドバイザー活動報告会

キャリアセンター長 大南 匠

2024年1月23日、3期生就職アドバイザーの方々による活動報告会が開催されました。

就職アドバイザーとは、就職活動を終えた先輩から後輩に体験談やノウハウを伝える有志による活動です。今年度は16名に担っていただきましたが、内定者報告会、就職体験記の作成、個別相談などの活動内容や各自の就職活動について、理事長、学長をはじめ、教職員を前に素晴らしいプレゼンテーションをしていただきました。

また、活動報告の後の歓談では、参加者全員が4年間過ごしてきた大学についての思いを丁寧に話してくれる皆さんの姿を見て、本学の価値について改めて感じることができました。

キャリアセンターでは、今後も学生のキャリア支援や就職支援に全力で取り組んでまいります。後援会の皆様には、引き続き変わらぬご支援とご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。



●3期生を迎えるにあたって

長野電鉄株式会社 代表取締役社長 久保田 敏之 様

2020年春、COVID-19の感染拡大が全国に広がりつつある混乱期に入学された第3期生の皆さんは、リモート講義を余儀なくされるなど制約を受けて、リアルなキャンパス生活を送れない日々が続きました。しかし、長野県立大学では「自ら考え、自ら学び、主体的に行動し、世界中のイノベーターと出会い、グローバルな視野で未来を切り拓き、地域を創生できるリーダーを育てる」使命のもと整備された先進的なカリキュラムに恵まれ存分に学ぶことができたことと思います。

日本は、平成のバブル崩壊後約30年間続いた「停滞と安定」の時代から「変化と不確実性」の時代に突入しています。行政、地域社会、企業も、人口減少、人手不足、これに対応するための生産性向上・DX化推進など従来考えられなかった様々な課題に立ち向かっています。

弊社として初めて長野県立大学から3期生をお迎えすることができました。自ら考え、主体的に行動することは、社会人にとって最も必要な姿勢です。ともに成長・発展してまいりましょう。



●卒業生の活躍

アスザックグループ 総務部人事チーム 山口 未央 様
健康発達学部食健康学科 2022年3月卒業

私は人事チームで主に新卒採用を担当しています。業務内容としては、インターンシップや会社説明会などのイベントの企画・運営や採用サイトのリニューアルなどです。採用活動の中では、学生さんはもちろん、社員の方や学校の先生方など、様々な方とお話する機会があるため、人との関わりを大切に業務に臨んでいます。特に、学生さんに対しては、自分が就職活動の時に感じていた不安を思い出しながら、一人一人に寄り添って接していきたいと思っています。採用サイトのリニューアルに関しては、アスザックグループが生活に身近な企業であることや社員を大切にしている会社であることが少しでも伝わるよう、コンテンツやデザインの検討を行っています。どちらも会社を代表して魅力を発信していく立場であるため、大きな責任と共にやりがいを感じています。まだまだ一人前にはほど遠いですが、これからも感謝の気持ちと新たな気づきを大切に、成長し続けたいと思います。



●3期生の進路状況

昨年に続き3期生の就職内定率が100%となりました（2024年3月15日現在）。

業界別内定先内訳や主な内定先・進学先については、長野県立大学ホームページ内のキャリアセンターページをご覧ください。

●内定者インタビュー



グローバルマネジメント学部グローバルマネジメント学科 4年
岡田 真宙 さん 内定先：東京海上日動火災保険株式会社

顧客の信頼を築くため、身近に潜むリスクを理解するだけでなく、市場動向や最新テクノロジーを把握することで、最適な保険提案を通じ、地域に安心・安全を提供してまいります。また、同僚との円滑な協力関係により、チームとして組織の成長を目指してまいります。



健康発達学部食健康学科 4年
山嵯 嬉良々 さん 内定先：長野県（管理栄養士）

生まれ育った長野県の健康長寿を支えていきたいと思い、長野県への就職を決めました。入庁後は、地域ごとの特色をよく理解しながら、県民の健康増進に取り組んでいきたいです。新しい知識を学び続け、管理栄養士として成長できるよう努力してまいります。



健康発達学部こども学科 4年
千葉 ほの香 さん 内定先：社会福祉法人清朗会せせらぎ保育園

子ども発達の遊びを大切にしたい保育や、地域の自然を活用した保育をしたいと思い、就職先を決定しました。就職後は、子どもの遊びを広げていけるような環境作りにチャレンジしていきたいです。子どもとの生活を楽しみながら保育をしていきたいと思っております。

●長野県立大生限定！「企業・団体見学バスツアー」実施報告

2023年11月、長野県内の企業・団体を貸切バスで訪問し、仕事に関するお話を伺うとともに職場見学を行う「企業・団体見学バスツアー」を実施しました。初企画となる今回は、3年連続で本学学生が就職・内定しているオリオン機械株式会社、長野市にご協力頂き、1～3年生25名が各職場を訪問しました。当日は、本学卒業生や人事担当の社員・職員の方々が丁寧に説明・案内を行ってくださり、ツアーの参加者は、実際の職場を目で見て、詳しくお話を伺うことにより、どのように働くか、どのような場所で働きたいか、じっくり考える機会となりました。キャリアセンターでは、今後も県内外の企業・団体に協力を頂きながら、各自の希望の進路に向けたキャリア・就職支援に取り組んでまいります。



左から：オリオン機械株式会社での見学の様子、入社した本学卒業生のお話の様子、長野市役所での見学の様子、入庁した本学卒業生のお話と職員課による説明の様子

Information

●図書館より

【芸術サークル×図書館コラボ】

芸術サークルのみなさんにご協力いただき、夏の特設展示として「芸術サークルが選ぶ推し本特集」を展開しました。併せて、センスを生かしたガラスペイントを館内に施していただきました。本館と南棟を繋ぐ渡り廊下と南棟の絵本コーナーの2箇所にありますので、繊細かつ丁寧に描かれたペイントをお楽しみください。

最新の特設展示コーナーには、発信力ゼミの学生がおすすめする絵本と趣向を凝らしたPOPが並んでいます。こちらのPOPは、2024年1月に学内で開催された学生主催イベント「妄想市」で展示されたものになります。2024年度4月末まで展示予定ですので、本学にお立ち寄りの際はぜひご来館ください。（学外利用者の皆様は、平日の8時30分から17時まで、図書館をご利用いただけます。）



芸術サークルが選ぶ推し本特集



ガラスペイント



発信力ゼミ生のおすすめ絵本&POP

●学生相談（カウンセラー）より

【学生ご本人との関わり方について】

大学生の時期は、発達上では大人への移行の時期であり、修学、広がりを見せる人間関係、一人暮らしの生活、就職活動といった多くの壁に立ち向かう日々を送っています。多くの壁に向き合い悩み、ときは疲弊し、不安を強く感じる時もあるかと思えます。そんなときには、次に向かうエネルギーを蓄えることが必要となり、学生にとってその多くがご家族の皆様へ安心・癒しを求めるのも大学生の特徴でもあります。壁に立ち向かい日々切磋琢磨している大学生となったお子さんに対して暖かく、「いつでも帰れることができる」そして“ホッとできる場所”として支えとなっていただきますと学生の大きな力となります。

【学生相談のご案内について】

学生相談では、こうした保護者の皆様からのサポートに加えて、学生のために公認心理師・臨床心理士、保健師が専門的な相談に対応しています。学生の皆さんが充実した大学生活を送れるよう学業、対人関係、心身の健康の悩み等、大学生活の中でのさまざまな問題・悩み・心配事に対してサポートを行っています。保護者の皆様から見て学生ご本人の様子が心配なときには、保護者の皆様からのご相談にも対応していますので、お気軽にご相談ください。

お問い合わせ先

学生サポートセンター（学生相談・カウンセラー）：TEL 026-217-5082

学生サポートセンター（健康管理室・保健師）：TEL 026-234-1223



学生相談・健康管理室
ホームページ

●後援会事務局より

学費あるいは授業について等、ご不明な点、ご相談など下記までお問い合わせください。また、後援会事業に関するご質問等も下記までお知らせください。

★授業に関すること

学生サポートセンター教務第一係 kyomu@u-nagano.ac.jp

★学生生活・学費等に関すること

学生サポートセンター学生支援係 gakusei@u-nagano.ac.jp

★後援会に関すること

学生サポートセンター学生支援係 gakusei@u-nagano.ac.jp

長野県立大学後援会

〒380-8525 長野県長野市三輪 8丁目49番地 7号

電話：026-217-5082 FAX：026-235-0026

<https://www.u-nagano.ac.jp/for-family/supporters/>

後援会ホームページのご案内

後援会の主な事業や会報のバックナンバーをご覧いただけます。

長野県立大学後援会

検索

